



中段左より4WDクラス優勝の加藤一也選手 (CMSC福島)、FFクラス優勝の須田行雄選手 (CMSC福島)、FRクラス優勝の佐々木健太郎選手 (CMSC岐阜)。
下段左よりオープンクラス優勝の田中健一選手 (CMSC青森)、軽クラス優勝の斎藤賢次選手 (CMSC福島)、そしてレディースクラス優勝の山本そのみ選手 (CMSC青森)。

よろしく、CMSC大阪が発足。

CMSC大阪

全国のCMSC各支部の皆さん、こんにちは。そして、初めてお目にかかります。

私たちは、このたび関西地区に初めて発足いたしました、CMSC大阪です。近畿三菱自動車販売株さんのご協力を得て、ようやくスタートいたしました。現在、近畿三菱の社員を中心にメンバーは18名と少人数ですが、積極的な活動を行ってゆく予定です。

当面は参加主体となりますが、メンバーが増えてきましたら、イベントの主催も含め、活動のステップアップをめざしていきます。まだまだ生まれたてのホヤホヤですが、よろしくお願いたします。なお、先日の全国大会には、ごあいさつがたがた参加させていただき、ありがとうございます。大阪としては8名の参加でしたが、全員楽しい思い出になりました。(CMSC大阪 杉本達也)



'91CMSC全国大会クローズドジムカーナ結果

●4WDクラス

1位	加藤一也	福島	1'35"09
2位	小館久	青森	1'36"81
3位	佐藤宏昭	福島	1'37"21
4位	楠田正文	岐阜	1'37"83
5位	杉坂啓一	島根	1'39"04
6位	荒井信介	群馬	1'41"36
7位	嶋田中也	青森	1'42"28
8位	菅野茂	山形	1'42"68
9位	菅野仁司	香川	1'42"99
10位	瀬尾靖弘	福島	1'43"70

●FFクラス

1位	須田行雄	福島	1'34"62
2位	鈴木正考	福島	1'36"13
3位	熊沢祥人	本部	1'39"49
4位	飯塚恒守	群馬	1'39"92
5位	黒沼与一	山形	1'41"22
6位	本間孝一	山形	1'41"81
7位	船津康一	群馬	1'41"89
8位	三枝重光	岐阜	1'42"73
9位	右近忠	千葉	1'43"30
10位	真戸原吉孝	千葉	1'45"92

●FRクラス

1位	佐々木健太郎	岐阜	1'42"25
2位	土屋知宏	福島	1'42"55
3位	福士信之	青森	1'47"08

●軽クラス

1位	斎藤賢次	福島	1'47"34
2位	高橋壮吉	群馬	1'52"28
3位	山口利久	群馬	1'54"74

●支部対抗(各支部高得点3名のポイント合計)

1位	CMSC福島	55ポイント
2位	CMSC青森	35ポイント
3位	CMSC本部	24.5ポイント
4位	CMSC群馬	23.5ポイント
5位	CMSC山形	17ポイント
6位	CMSC岐阜	13ポイント
7位	CMSC千葉	10ポイント
8位	CMSC島根	8ポイント
9位	CMSC埼玉	6ポイント
10位	CMSC大阪	5ポイント
11位	CMSC香川	2ポイント

●オープンクラス

1位	田中健一	青森	1'32"88
2位	対馬雅人	青森	1'37"16

●レディースクラス

1位	山本そのみ	青森	1'39"46
2位	二木貴代美	本部	1'43"88
3位	渡辺康子	埼玉	2'04"80

協賛スポンサー (アイウエオ順)

R.J.レイノルズMCタバコ株(キャメル) IPF株 青木科学研究所(ルブローレン) 株旭通信社 株アライヘルメット (有)アンフィニ(木村謙治様) 株伊勢丹 株ウイングス・コーポレーション(GAB) 株エスエス・リミテッド(シビエ) エンパイア自動車株 オーツタイヤ株 柏崎株(ミツワモデル) カヤバ工業株 株キャロッセ 株サミット シスコ・ジャパン株(STP) 住友ゴム工業株 株タスカ・エンジニアリング 株テスス&サービス 株東京映像社 東洋紙業株 日本特殊陶業株(NGK) 株阪急交通社 株ブリヂストン ポシュロム・ジャパン株(レイバン) ミシュラン・オカモト販売株 横浜ゴム株 株ラリーアート

表彰台をめざして、体制づくりを。

CMSC埼玉

筑波9時間耐久レース

8月10日(土)/筑波サーキット

8月10日午後、筑波9時間耐久レースの公式予選開始、2クラスがコースイン。シグナルが赤から青に変わり、ピットロードより競技車が1コーナーめがけて突進してゆく。われらが34号車も続いて1コーナーに進入。クリッピングをとり、アウトにはらんでそのままヘアピンへとアクセル全開！ところがその時、エンジンがストップ。スローダウンしてしばらくするとエンジンは目を覚まし、ふたたび吹け上がってゆく。練習走行時に時々現れていたガス欠症状が、再び発生してしまいました。急いでピットインするも、給油などの作業が禁止されていて直らない。自然に直るのを期待して再度コースインする

が、ついに正常に戻らず、あえなく予選落ちとなってしまいました。

今年、僕はラリーとレースの二足のわらじをはいていて、トライデントレーシングチームとしてレースに出場しています。富士6耐、筑波9耐と各2台ずつ、トライデントカラーに塗られたミラーージュをエントリーさせましたが、チームが発足して間もないため、マイナートラブルが多発して良い結果が出ません。今後しっかりとした体制を作って、表彰台のてっぺん目指して行きたいと思っています。もちろん、ラリーのほうもがんばります。

(CMSC埼玉 長沢太郎)



左から2番目が長沢太郎選手

総数175台参加、女性も活躍。

CMSC群馬

'91CMSCトライアル in 那須

7月28日(日)/丸和オートランド那須

すっきりと晴れ上がった空の下、7月28日に丸和オートランド那須にて'91CMSCトライアルin那須が開催されました。当日は、CMSC設立以来はじめての晴天での大会。それに加えて、参加台数175台という大量エントリー。炎天下で、最後まで体力がもつか、太陽が出ているうちに競技を終了できるのか、ちょっぴり不安を抱きながらの開会式でした。

決勝コースはオーソドックスな右回り。コースクリアは、全日本ラリープリントドライバーであり、CMSC群馬の会長でもある荒井伸介が努めました。そしてこのタイムを目標に、タイムトライアルが行われました。

エントラント中には、今日はじめて丸和を走るとい



う人や、新潟から駆けつけてくれた人、ジュニアシリーズの常連さん、C地区戦をけてエントリーしてくれた人など、主催者にとってはうれしいかぎりです。特にがんばってくれているのが、女性ドライバーです。うれしいことに、F&Lクラスで優勝し、改造車クラスにもエントリーしていただきました。これからも、もっともっとエントリーしてください。毎



乾浩行選手は三菱賞の1位

年恒例の三菱賞は、地元群馬の乾 浩行選手に決定。来年も、ぜひお願いします。

全員汗だくになりながら、大きなトラブルもなく、無事に競技を終了する事ができました。

(CMSC群馬 丸山 麻紀子)

林道コースで、地元勢が活躍。

CMSC帯広

コルトダートトライアル

8月11日(日)

今年で7回目を迎えたコルトダートトライアルも、コースレイアウトのおもしろさと賞品の豊富さから、年々エントリー台数も増えてきました。ノンタイトル地方競技にもかかわらず、道チャンシリーズの上位者や全日本のAIIIクラスで活躍している宝田選手など、多くの有力選手が参加しました。

コースレイアウトは、アップダウンが多くライン取りの難しい林道のハイスピード区間と、パイロンスラロームを使ったテクニカルコースの複合。いつもは広いコースに慣れているエントラントも、ラリーのSS区間のような林道コースに手を焼いていました。

A Iクラスでは、全日本戦でも有名な原選手が、A IIを上回る好タイムで順当勝ち。A IIクラスは、この



瀬川智幸選手によるエキジビジョン走行

コースを熟知している地元の西島選手が、うれしい初優勝。注目のAIIIクラスでは、誰もが優勝を疑わなかった、CMSC札幌の宝田ギャランがギャップの多さに苦戦し、熱い走りを見せながらも、まさかの4位と低迷。候補No.2の片岡ギャランは、「今日は勝つ！」のコメントを残してスタートするも、スタート直後のギャップに飛ばされ大ジャンプ。コースアウトは逃れたものの、この時のロスタイムが最後までひび



AIII2位の片岡選手は三菱賞1位

いて2位となってしまいました。優勝したのは、全日本ラリーにもAクラスでスポット参加している村上選手のバルサー。各選手が手を焼いた林道コースを持ち前のラリー走法で豪快に攻め、ベストラップをたたきだしました。

オートクロス車によるエキジビジョン走行では、名車旧ランターボも出場し、ギャラリーのかっさいをあげていました。(CMSC帯広 青沼達也)